

作成日:2012年 4月27日
(前回作成日:2012年 1月31日)

アセット トライ

期間運用報告書

自:2012年 1月 1日

至:2012年 3月31日

作成者 : AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED

交付者 : 岡藤商事株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-16
コールセンター 電話 0120 (33) 7639

A. ファンドの状況

1. 資産推移(販売、解約の状況)

単位:千円

計算期間 *1	前期末*2		期中解約			期中販売			期末	
	口数	総純資産	件数	口数	総額*3	件数	口数	総額*4	口数	総純資産
1999/2/1～ 1999/5/31	720.000000	720,000	0	0.000000	0	43	72.791622	70,000	792.791622	740,509
1999/6/1～ 2000/5/31	792.791622	740,509	47	84.050664	78,704	52	125.839074	114,000	834.580032	799,018
2000/6/1～ 2001/5/31	834.580032	799,018	40	114.758743	129,155	8	8.087742	9,000	727.909031	815,593
2001/6/1～ 2002/5/31	727.909031	815,593	31	44.387643	51,035	80	138.652441	161,000	822.173829	872,581
2002/6/1～ 2003/5/31	822.173829	872,581	53	215.272753	286,590	82	132.339191	175,000	739.240267	1,116,301
2003/6/1～ 2004/5/31	739.240267	1,116,301	24	31.843891	45,639	192	306.840111	453,000	1,014.236487	1,414,915
2004/6/1～ 2005/5/31	1,014.236487	1,414,915	45	62.586487	88,110	322	418.237374	582,000	1,369.887374	2,025,127
2005/6/1～ 2006/5/31	1,369.887374	2,025,127	95	461.930128	734,344	444	732.904334	1,226,000	1,640.861580	2,862,430
2006/6/1～ 2007/5/31	1,640.861580	2,862,430	159	326.531143	540,296	398	580.581296	973,000	1,894.911733	3,386,437
2007/6/1～ 2008/5/31	1,894.911733	3,386,437	224	332.721437	662,243	0	0	0	1,562.190296	3,571,161
2008/6/1～ 2009/5/31	1,562.190296	3,571,161	159	245.328954	551,663	0	0	0	1,316.861342	2,922,718
2009/6/1～ 2010/5/31	1,316.861342	2,922,718	74	104.247836	210,683	0	0	0	1,212.613506	2,496,116
2010/6/1～ 2010/6/30	1,212.613506	2,496,116	4	3.225938	6,574	0	0	0	1,209.387568	2,517,076
2010/7/1～ 2010/9/30	1,209.387568	2,517,076	87	126.789806	276,394	0	0	0	1,082.597762	2,413,472
2010/10/1～ 2010/12/31	1,082.597762	2,413,472	39	40.907523	91,204	0	0	0	1,041.690239	2,404,355
2011/1/1～ 2011/3/31	1,041.690239	2,404,355	14	16.553680	36,949	0	0	0	1,025.136559	2,215,684
2011/4/1～ 2011/5/31	1,025.136559	2,215,684	11	25.446358	55,722	0	0	0	999.690201	2,267,404
2011/6/1～ 2011/6/30	999.690201	2,267,404	50	62.890598	141,216	0	0	0	936.799603	2,088,754
2011/7/1～ 2011/9/30	936.799603	2,088,754	30	68.791157	152,510	0	0	0	868.008446	1,967,910
2011/10/1～ 2011/12/31	868.008446	1,967,910	19	30.456352	66,379	0	0	0	837.552094	1,812,889
2012/1/1～ 2012/3/31	837.552094	1,812,889	31	52.773977	112,889	0	0	0	784.778117	1,667,960
累計	—	—	1,236	2,451.495068	4,318,299	1,621	2,516.273185	3,763,000	—	—

- 注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。
 *2 運用開始時の前期末口数・総純資産は、初回販売口数・総純資産となっております。
 *3 期中解約総額は、解約手数料が差し引かれております。
 *4 期中販売総額には、販売手数料が含まれておりません。
 *5 期中販売及び期中解約の件数、口数及び件数は、払込期限及び解約手続基準日の翌月に反映しております。

2. 運用実績推移(1口当たり)

単位:円

計算期間 *1	前期末 純資産	期中損益	期末 純資産*2	期間 騰落率	運用開始来 騰落率*3	年平均 騰落率
1999/2/1～ 1999/5/31	1,000,000	-65,947	934,053	-6.59%	-6.59%	—
1999/6/1～ 2000/5/31	934,053	23,337	957,390	2.50%	-4.26%	-3.21%
2000/6/1～ 2001/5/31	957,390	163,070	1,120,460	17.03%	12.05%	5.17%
2001/6/1～ 2002/5/31	1,120,460	-59,150	1,061,310	-5.28%	6.13%	1.84%
2002/6/1～ 2003/5/31	1,061,310	448,756	1,510,066	42.28%	51.01%	11.78%
2003/6/1～ 2004/5/31	1,510,066	-115,011	1,395,055	-7.62%	39.51%	7.41%
2004/6/1～ 2005/5/31	1,395,055	83,262	1,478,317	5.97%	47.83%	7.55%
2005/6/1～ 2006/5/31	1,478,317	266,151	1,744,468	18.00%	74.45%	10.15%
2006/6/1～ 2007/5/31	1,744,468	42,653	1,787,121	2.45%	78.71%	9.45%
2007/6/1～ 2008/5/31	1,787,121	498,875	2,285,996	27.92%	128.60%	13.78%
2008/6/1～ 2009/5/31	2,285,996	-66,539	2,219,457	-2.91%	121.95%	11.80%
2009/6/1～ 2010/5/31	2,219,457	-160,998	2,058,459	-7.25%	105.85%	9.34%
2010/6/1～ 2010/6/30	2,058,459	22,822	2,081,281	1.11%	108.13%	9.47%
2010/7/1～ 2010/9/30	2,081,281	148,053	2,229,334	7.11%	122.93%	10.54%
2010/10/1～ 2010/12/31	2,229,334	78,795	2,308,129	3.53%	130.81%	10.97%
2011/1/1～ 2011/3/31	2,308,129	-146,774	2,161,355	-6.36%	116.14%	9.55%
2011/4/1～ 2011/5/31	2,161,355	106,751	2,268,106	4.94%	126.81%	10.28%
2011/6/1～ 2011/6/30	2,268,106	-38,436	2,229,670	-1.69%	122.97%	9.90%
2011/7/1～ 2011/9/30	2,229,670	37,485	2,267,155	1.68%	126.72%	10.00%
2011/10/1～ 2011/12/31	2,267,155	-102,647	2,164,508	-4.53%	116.45%	9.01%
2012/1/1～ 2012/3/31	2,164,508	-51,861	2,112,647	-2.40%	111.26%	8.45%
累計	—	1,112,647	—	—	—	—

注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。

*2 期末純資産は、1口当たりの表記となっておりますので、お客様の保有口数を乗じた金額がお客様の保有する口数に対する時価となります。

*3 運用開始来騰落率は、運用開始日の1口当たり純資産価額100万円を基準として算出されています。

*4 パーセンテージの計算は小数点以下第3位を四捨五入しています。

注: 1) 純資産は、契約締結前交付書面2. 13項に基づいて算出されております。

2) 期間騰落率及び運用開始来騰落率、年平均騰落率の計算方法は、次の通りとなっております。
なお、すべて1口当たりの価額にて算出しております。

① 期間騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} - \text{期初純資産}}{\text{期初純資産}} \times 100$$

② 運用開始来騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} + \text{前期末までの配当累計} - \text{運用開始時純資産}}{\text{運用開始時純資産}} \times 100$$

③ 年平均騰落率(設定時より1年以上経過した場合のみ記載。)

$$= \text{運用開始来騰落率} \div (\text{運用日数(片端落し)} / 365)$$

B. ファンドの概況

先物顧問運用会社による運用状況

プラスに寄与したセクター	エネルギー					
マイナスに寄与したセクター	通貨	金利	株価指数	金属	農産物	その他商品

原油相場は、当初のイラン情勢緊迫を背景とした100ドル超えから、欧州の景気減速が懸念され2月初めには95ドルへ下落しました。その後、欧米が対イラン制裁を具体化するなか代替原油調達が見込まれ2月末には110ドルへ上昇しましたが、中国の成長鈍化や米仏の石油戦略備蓄放出検討を受け、期末には102ドルへ反落しました。

金相場は、当初の1,570ドル水準から2月末には一時1,790ドルへ上昇しました。支援材料となっていた欧州債務不安が一服後も、日米欧の金融緩和姿勢で続伸。しかし米国主導の株高もあって米金融当局の追加緩和見通しが後退すると、ドル高の進展を受け急反落し、その後は1,600ドル台後半での横ばいとなりました。

大豆相場は、当初1,150セントへ反落する場面がありましたが、1月後半以降は一貫した上昇となりました。南米では悪天候により大豆生産高が当初予定を大きく下回ることから、米国産大豆の輸出拡大が見込まれる一方、今年の米国の大豆作付面積が昨年より減少、低在庫の長期化が懸念され、月末にかけて上値を伸ばしました。

為替相場は、当初は債務不安を背景にユーロ安となったものの、1月半ばには米国の長期金融緩和の表明でドル安に転じました。2月は日銀の追加緩和で円安が進展、ギリシャの債務交換をこなしての欧州中銀資金供給オペでユーロが反落するなど、日米欧ともに緩和的な金融政策を維持するなか、政策に左右される動きとなりました。

主要国の短期金利は、日米欧ともに金融緩和策を続けるなか、ユーロは一貫して低下傾向、ドルは低下から横ばい、円では横ばい推移となりました。長期金利は短期的な上下はあるものの、米国主導の株高を背景に米国、英国で緩やかな上昇傾向。ドイツはユーロ圏の財政不安が残るなかおおむね横ばい、国内は小幅での横ばいを継続しました。

主要国の株価指数は、ギリシャ債務問題や中国の経済成長減速懸念を背景に一時的に反落する場面がありましたが、各国金融当局の緩和姿勢を背景に期間を通し全面高となりました。特に米国の経済指標が好調でNYダウは2007年末以来の高値を回復、日本株は円安も好感されて上値を伸ばし、日経平均は震災後高値を回復しました。

C. 資産推移

